

新潟の奥座敷 月岡温泉

新潟県・新発田市・月岡温泉『ホテル清風苑』

【記事投稿者：専務取締役 樋口 恵一】

月岡温泉のご紹介をいたします

月岡温泉は水の都新潟市からお車で約40分の場所に広がる田園の中にある温泉地です。古くから『新潟の奥座敷』と言われております。独特のイオウ泉の香りに包まれる温泉街には、約20軒の旅館ホテルのほか飲食店やお土産屋さん、自慢のお饅頭屋さんなどが建ち並びます。夕暮れ時にはと艶やかな月岡芸妓さん達が華やかに行き交う姿を見ることがあります。

月岡温泉に伝わる『さぎの湯伝説』

当月岡温泉は、はるかその昔全く人が住んでおりませんでした。ある秋の夕暮れ時に一羽の鷺（さぎ）が怪我をして飛べなくなっておりました。そこへお百姓さんが近づいてきました。鷺はお百姓さんの姿に気付き、片足をひきながら葦（あし）の方へ逃げていきました。お百姓さんが鷺のいた場所へいってみると不思議と温泉が沸いておりました。数日後、鷺はそのお湯につかり重傷の怪我を治して大空へ飛び立っていきました。これが古くから伝わる月岡温泉の伝説です。

月岡温泉の歴史は

大正4年に石油開発が始まりました。明治から大正にかけて日本一の産油量を誇っていた新津（現在の新潟市秋葉区）を中心とした東山油田の一部地域として当地月岡温泉も石油採掘が行われていました。採掘業者が大勢入り、石油は出るには出たが少ない産出量でした。そこで共同で最後の一本を深く掘削しました。しかし採掘した結果は石油が出ずに温泉が出てきました。温泉の下には石油なしと判断した石油業者は解散しました。しかしその中にいらした本間周三郎氏（当時の石油組合専務理事）が石油業をやめてこの温泉の効能を生かして温泉場の建設を思い立ちました。これが月岡温泉発祥の始まりと言われております。近年月岡温泉が全国のお客様に知って頂くきっかけは、上越新幹線（昭和57年）の開業と関越自動車道開通により関東首都圏からの交通アクセスが大幅に便利になったことが一つの要因です。

月岡温泉の泉質効能そして神秘の色とは・・・

月岡温泉の湯の色には、7つの顔があると言われております。よく人工入浴剤と勘違いされるほど美しいエメラルドグリーンの色をしています。日により色が変化したり致します。実は季節やその日の天気や気象条件によって微妙に色が変化するのです。温泉が自然からの贈りものであり何より生きている証拠です。泉質は含イオウ・ナトリウム塩化物温泉です。月岡温泉の香りには強烈な特徴があります。これはイオウ泉による香りです。月岡温泉に近づくとこの香りが致します。これも温泉情緒をかもし出すひとつになっています。一口で言って素晴らしい効能のある温泉であり、不老長寿、美人になれる温泉の要素を豊富に含む自慢の名泉と存じております。

温泉を成分利用した化学実験『夏休み自由研究』お手伝い

夏休みは宿題に追われるお子様がたくさんおります。そうした中で当館ホテル清風苑では夏休み自由研究のお手伝いをするサービスが人気になっております。ホテル清風苑の夏の代名詞となりつつある恒例『夏休み自由研究プラン』です。ご宿泊のお子様や小学生は誰でも無料で参加ができます。

自由研究のテーマは『月岡温泉のお湯でクギが黒くなるのは何故』。実験の目的は、昔から月岡温泉内では機械類が故障する、あるいは鉄が黒くさびる事などよく目にします。その訳は、どうやら月岡温泉のイオウ泉成分にあるようです。そこで鉄釘が本当に黒く変化するのか、他の液体に比べてどのように違いが出るのかを、館内で実験して観察のお手伝いをホテルスタッフが致しております。

月岡温泉周辺の様々な観光スポット

JRA新潟競馬場（新潟市北区笹山、月岡温泉からお車約20分）ここは市町村などが経営する地方競馬場ではなく、日本海側でただひとつの日本中央競馬会の競馬場です。春と夏を中心に開催される中央競馬には、県内はもちろん、全国からファンが訪れます。開催日以外の毎週土曜・日曜には中央競馬の場外発売も実施されております。日本初の直線1000mコースがあることでも有名です。 地元の新発田市内には酒蔵見学、歴史と城下町であることを感じる清水園、足軽長屋、新発田城など見所はたくさんあります。

月岡温泉の魅力を伝える様々な取り組み

取り組みの第一弾。新潟県の全蔵元96銘柄の地酒を月岡温泉の旅館や飲食店でお酒巡りができます。さらに、各店の手作りおつまみなどを併せて堪能できます。おいしい地酒と山海のつまみで温泉街を巡ることができます。参加方法は簡単です。お酒巡り加盟店にて5回分の酒巡りチケットが付いたオリジナルぐい呑み盃おちょこを500円で購入して頂くだけです。この新潟の銘酒巡りイベントは『越後の酒天湯子（しゅてんとうじ）』として期間中は毎日開催しております。

取り組みの第二弾は『極上越後の美食会席』です。月岡温泉の各旅館が、新潟県の良質な地場産食材（新潟フードブランド等）を用いて、オリジナルの極上越後の美食会席を開発しました。各旅館で異なる個性あふれる極上美食料理をご堪能頂けます。

取り組み第三弾は、月岡温泉でしか味わえない期間限定。極上越後どんぶり『月岡ライスボウル』です。旨い新潟県産コシヒカリに新潟グルメと新鮮食材を合わせました。月岡温泉の各飲食店約10軒が腕とアタマをふるい、オリジナルどんぶりを開発しました。月岡温泉独自のライスボウルメニューとして期間中限定販売を致しております。お値段はお手ごろ価格の約800円から1400円です。

取り組み第四弾は、『お宿スイーツめぐり』です。月岡温泉の各宿の女将が特製スイーツを企画致しました。各宿のロビーフロアや喫茶コーナー等でご提供をしております。コーヒー又は紅茶とセットで700円です。新潟の旬の食材や季節のフルーツを使っております。ご宿泊をされなくてもお気軽に各宿のスイーツめぐりをお楽しみ頂けます。また2009年には月岡カリオンパ

ークが『恋人の聖地』として登録を致しました。

美人になれる温泉を気軽に楽しめる足湯『湯足美（ゆたび）』が２００８年５月に温泉街の中心にある広場にオープンしました。足湯『湯足美』の目前には常設されている演舞場ステージ『月見台』も併設しております。このステージでは月岡芸妓の手踊りを毎週日曜日（冬季期間は致しておりません）午後１時３０分頃無料でご観覧いただけます。足湯を楽しんでそして月岡芸妓の手踊りを鑑賞します。その後はお酒巡り、お食事は月岡ライスボウルを召し上がって頂きご宿泊され温泉をお楽しみ頂ければと存じます。

月岡温泉の様々の取り組みや祭りイベントは地元を愛する多くの人によって支えられ成り立っております。たとえば足湯などは多くの人に気持ち良く利用して頂く為、地元の皆さんが毎晩１０時に清掃作業をしております。頭の下がる思いです。先人達の努力から現在迄のこのような取り組みが月岡温泉の魅力造りを支えております。



足湯『湯足美（ゆたび）』

うまさぎっしり新潟県

新潟デスティネーションキャンペーン(DC)が２００９年１０から１２月迄開催されました。キャンペーン期間中、地元関係者が一体となって、観光資源の発掘・情報発信、おもてなし企画を展開致しました。このDCキャンペーンをきっかけに『うまさぎっしり新潟』をキャッチフレーズに、新潟県が全国に誇る『食』の魅力を皆様にお伝えしております。

当館ホテル清風苑も２００８年に客室の改装を実施致しました。その内容は『快適・清潔・安全・地球環境への配慮』を基軸に進めて参りました。これからも地域社会との共生を図り、お客様とそして社員の和を大切にされた品位品格ある企業経営を目指して参ります。



平安亭客室



大岩露天風呂（殿の湯）



新潟県 新発田市 月岡温泉
ホテル清風苑

〒959-2397

新潟県新発田市月岡温泉 278-2

TEL : 0254-32-2000